

伊勢市にがれき 受け入れ求める

辻、吉井両市議が要望書

【伊勢】伊勢市議会議員の辻孝記公明党伊勢支部長と吉井詩子同党副支部長は三日、市役所で、東日本大震災復興のため岩手県と宮城県のがれき受け入れなどを求める要望書を、鈴木健一市長に提出した。

要望書は、①がれきについて、放射能汚染への市民

の不安を取り除くとともに、県や民間と連携を図り積極的な受け入れに努める②被災地で不足している都市計画や土木関連の専門職員を積極的に派遣する③市への避難者に対する生活再建相談体制を継続して強化する―の三点を挙げている。



震災がれきの受け入れなどを要望する公明党の辻市議（中央）と吉井市議（左） 伊勢市役所で

辻支部長は、がれき受け入れについて、「リーダーシップを取ってまず『受け入れる』と言わない」と、県や市長会の結論を待たず、鈴木市長に受け入れ表明を促した。鈴木市長は、「（がれきの放射能を検査する）サンプリングの安全性の情報整理が必要で、焼却炉のフィルタ―で放射性物質が取れる根拠もない。職員の健康や

市民の安全のため、大丈夫という説明を国に求めなければ」と答え、現段階での受け入れ表明には慎重な考えを示した。